

令和2年度 学校自己評価

(計画段階 ← 実施段階)

福岡県立苅田工業高等学校長 印

学校番号

4

学校運営方針		学校運営方針(4月)		評価(3月)
昨年の成果と課題		「チーム苅工」として教育活動を展開し、志と自律心・思いやりの心溢れる、国際的視野をもって未来の地域産業を支えるものづくりのスペシャリストを育成する。		
		年度重点目標	具体的方策	
昨年の成果として、苅田町イノベーション事業に代表される地域との連携に加え、ものづくりを通して培われた技術・技能を存分に発揮し全国優勝を手にしたマイコンカーリーや、レスリング部の全国大会出場など、生徒主体の教育活動が十分に展開できるようになった。		一人一人の人格が尊重される安全・安心な学校づくりの推進と思いやりの心の醸成	○危機管理マニュアルの改訂を図り、危機管理意識の向上と対応能力を高める。 ○悩みやいじめの早期発見・早期対応による安心な学校環境づくりを推進する。 ○人権・同和教育、薬物乱用防止教育および命の教育を推進する。 ○豊かな心の涵養を目指した学校行事等の充実を図る。	
今年度は、「チーム苅工」としての教育活動をさらに発展・充実させ、確かな学力を育成するとともに、規範意識の向上による安全で安心な学校づくりや、5Sの徹底、学校行事を通して育む豊かな心と思いやりの精神など、工業人としてのさらなる成長を図る。また、「社会に開かれた教育課程」の視点に立った地域の人的・物的資源の活用など、社会教育との連携を深めることでもたらされる実体験を重視したキャリア教育の推進を行う。さらに、ものづくりや部活動、地域行事への積極的な参加によって地域との連携をより緊密なものとし、開かれた魅力ある学校づくりと本校のブランド化を図る。		「鍛ほめ福岡メソッド」を取り入れた主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	○好奇心と想像力を喚起する学習活動の推進を図る。 ○「ものづくり」への興味関心を育てる工業教育を推進する。 ○朝読書と連動した授業規律の確立を図る。	
		自主自立・規範意識の向上・5S(整理・整頓・清潔・清掃・躰)の徹底	○挨拶「時間厳守」「服装整頓」等、基本的生活習慣の確立を図る。 ○部活動、生徒会活動等の活性化による自主・自立、母校愛と協働の精神の涵養を図る。 ○5S徹底による工業人としての資質の向上とコミュニケーション能力の育成を図る。	
		キャリア教育の推進と国際的視野をもった地域に根ざした人材の育成	○資格取得推進上道路マップによる進路意識の醸成を図る。 ○インターンシップや「産業人材育成事業」を活用した体験教育の推進を図る。 ○生徒自身の特性を生かせる進路希望の実現を図る。 ○グローバル人材を育成するための教育活動を展開する。	
		地域に開かれた魅力ある学校づくりとブランド化	○「ものづくり」を通じた地域貢献事業の推進と創造力の育成を図る。 ○地域のボランティア活動へ積極的な参加を推進する。 ○地域・中学生・保護者への学校情報の積極的な発信とブランド化を図る。	

部所名	課名	具体的目標	具体的方策	評価(3月)	次年度の主な課題
教務	教務	授業規律の遵守・授業改善	昨年度取り組んだ授業規律を遵守する指導体制を継続しつつ、新学習指導要領に伴う評価方法の改善を行い、学習指導等へ効果的にフィードバックさせる体制を構築する。 「鍛ほめ福岡メソッド」を取り入れ、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習指導、授業改善が行えるよう、研修課と連携し推進する。		
		興味関心を育てる学習活動の推進	「ものづくり」への興味関心を高め、工業教育における基礎学力の重要性を理解させることで、その定着と向上を図る。 教務データ等の電算化を推進することにより、教職員が生徒に関わる時間を確保し、効果的な学習指導が行える環境を整える。		
	研修	授業・評価改善に向けた意識改革	校内外の研修への参加を積極的に促し、学習指導力の向上及び評価に役立てる。 教員相互間の研究授業、公開授業週間への参観を促し、学びの質を高めるための授業改善を推進する。		
		読書習慣の定着	朝読書の時間をしっかり確保し、読書習慣を身につけさせる。 図書館における資料と設備を充実させ、図書館教育の充実を図る。		
生徒指導部	生徒指導課	基本的な生活習慣の確立を図る	欠席・遅刻・早退の減少を図るため、自学自習の指導を学年と協力し徹底して行う。みだしなみ指導を継続して行い、「すぐにも面接に行ける状態」の意識づけを徹底する。 毎月の学校生活アンケートや定期的個人面談を確実にし、生徒の「心の把握」を徹底して行う。また、その情報収集や情報発信を行い、共通理解を図った生徒指導を行う。		
		関係機関と連携した生徒指導を行う	警察・自動車学校等と連携した交通安全教室を実施し、交通事故の未然防止に努める。非行防止等の規範意識育成のため、各種講演会の内容充実にも努める。 関係機関・他分掌・職員間の連携を密にした指導の充実を図り、問題行動の未然防止に努める。登下校指導の強化を図り、交通マナーの向上を図る。また、PTAとも連携し地域のイベントの巡回や登校指導を行う。		
	生徒会・委員会活動・部活動の活性化を図る	生徒会役員、各種委員会及びリーダーの育成を図り、学校行事における自主的な運営を支援する。また、ボランティア活動や挨拶運動・薬物乱用防止キャンペーンなどにも積極的に参加する。 学期に1回以上の部活動生集会と学期に1回の部室等点検を行い、他の生徒の模範となるよう自覚を促す。また、他分掌と連携した広報活動を積極的に行い、各部の活動状況や生徒の頑張りを地域や企業、中学校へ強力にPRする。			
保健課	学習環境の整備と安全管理を行う	5Sに努め、清掃活動を徹底させる。また、美化コンクール・美化点検を定期的に行い、美化意識の向上を図る。 自然災害等の緊急時行動マニュアルを徹底させ、「命を守る行動」の指導を徹底する。また、保健だよりを定期的に発行し、季節やインフルエンザ流行時の早期対応の指導を継続する。			

令和2年度 学校自己評価

(計画段階 ・ 実施段階)

福岡県立苅田工業高等学校長 印

学校番号

4

学校運営方針(4月)

評価(3月)

学校運営方針 昨年の成果と課題	「チーム苅工」として教育活動を展開し、志と自律心・思いやりの心溢れる、国際的視野をもって未来の地域産業を支えるものづくりのスペシャリストを育成する。 年度重点目標	具体的方策
昨年の成果として、苅田町イルミネーション事業に代表される地域との連携に加え、ものづくりを通して培われた技術・技能を存分に発揮し全国優勝を手にしたマイコンカーラリーや、レスリング部の全国大会出場など、生徒主体の教育活動が十分に展開できるようになった。 今年度は、「チーム苅工」としての教育活動をさらに発展・充実させ、確かな学力を育成するとともに、規範意識の向上による安全で安心な学校づくりや、5Sの徹底、学校行事を通して育む豊かな心と思いやりの精神など、工業人としてのさらなる成長を図る。また、「社会に開かれた教育課程」の視点に立った地域の人的・物的資源の活用など、社会教育との連携を深めることでもたらされる実体験を重視したキャリア教育の推進を行う。さらに、ものづくりや部活動、地域行事への積極的な参加によって地域との連携をより緊密なものとし、開かれた魅力ある学校づくりと本校のブランド化を図る。	一人一人の人權が尊重される安全・安心な学校づくりの推進と思いやりの心の醸成 「鍛ほめ福岡メソッド」を取り入れた主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善 自主自立・規範意識の向上・5S(整理・整頓・清潔・清掃・躰)の徹底 キャリア教育の推進と国際的視野をもった地域に根ざした人材の育成 地域に開かれた魅力ある学校づくりとブランド化	○危機管理マニュアルの改訂を図り、危機管理意識の向上と対応能力を高める。 ○痛みやいじめの早期発見・早期対応による安心な学校環境づくりを推進する。 ○人権・同和教育、薬物乱用防止教育および命の教育を推進する。 ○豊かな心の涵養を目指した学校行事等の充実を図る。 ○好奇心と想像力を喚起する学習活動の推進を図る。 ○「ものづくり」への興味関心を育てる工業教育を推進する。 ○朝読書と運動した授業規律の確立を図る。 ○「挨拶」「時間厳守」「服装整頓」等、基本的な生活習慣の確立を図る。 ○部活動、生徒会活動等の活性化による自主・自立、母校愛と協働の精神の涵養を図る。 ○5S徹底による工業人としての資質の向上とコミュニケーション能力の育成を図る。 ○資格取得推進と進路マップによる進路意識の醸成を図る。 ○インターンシップや「産業人材育成事業」を活用した体験教育の推進を図る。 ○生徒自身の特性を生かせる進路希望の実現を図る。 ○グローバル人材を育成するための教育活動を図る。 ○「ものづくり」を通じた地域貢献事業の推進と創造力の育成を図る。 ○地域のボランティア活動へ積極的な参加を推進する。 ○地域・中学生・保護者への学校情報の積極的な発信とブランド化を図る。

部所名	課名	具体的目標	具体的方策	評価(3月)	次年度の主な課題	
キャリア教育部	進路指導課	進路実現に向けた学力の向上	就職問題集やSPI問題集など朝学習のまとめテストを実施し学び直しを行うことで基礎学力向上を目指す。 夏季休業中の補習体制を綿密に計画し就職試験・進学受験に備える。			
		キャリア意識の向上	「進路指導の手引き」・「キャリアパスポート」を活用し、自らの学習状況や進路目標を設定させ自身の成長を自己評価させる。 インターンシップ・進路ガイダンス・工場見学などを通し進路意識の向上に繋げる。			
		進路希望の実現	企業説明会・面談を通じ、情報内容を整理し生徒の希望が叶う情報提供を行うと共にミスマッチのない進路指導を目指す。 進学、公務員希望者にはオープンキャンパス、休日や夏季講習会への積極的な参加を促し早期より対策を行う。			
	情報課	校内LANの管理・運用	校務支援システムの運用に向けての準備または移行をスムーズに行う。			
			各所のPCの保守・管理およびICT教育の支援に努める。			
	企画・広報課		迅速な情報発信	HPの迅速な更新を行う。中学校訪問を積極的に行い、常に情報提供ができるようにする。		
学校行事等のスムーズな企画運営と防災意識の向上			各行事へ迅速に取り組み、職員への周知徹底をはかる。実効性の高い避難訓練を実施し、防災意識を高める。			

令和2年度 学校自己評価

(計画段階 ◀ 実施段階)

福岡県立苅田工業高等学校長 印

学校運営方針		学校運営方針(4月)		評価(3月)
昨年の成果と課題		「チーム苅工」として教育活動を展開し、志と自律心・思いやりの心溢れる、国際的視野をもって未来の地域産業を支えるものづくりのスペシャリストを育成する。		
		年度重点目標	具体的方策	
昨年の成果として、苅田町イルミネーション事業に代表される地域との連携に加え、ものづくりを通して培われた技術・技能を存分に発揮し全国優勝を手にしたマイコンカーラーや、レスリング部の全国大会出場など、生徒主体の教育活動が十分に展開できるようになった。 今年、「チーム苅工」としての教育活動をさらに発展・充実させ、確かな学力を育成するとともに、規範意識の向上による安全で安心な学校づくりや、5Sの徹底、学校行事を通して育む豊かな心と思いやりの精神など、工業人としてのさらなる成長を図る。また、「社会に開かれた教育課程」の視点に立った地域の人的・物的資源の活用など、社会教育との連携を深めることでもたらされる実践を重視したキャリア教育の推進を行う。さらに、ものづくりや部活動、地域行事への積極的な参加によって地域との連携をより緊密なものとし、開かれた魅力ある学校づくりと本校のブランド化を図る。		一人一人の人権が尊重される安全・安心な学校づくりの推進と思いやりの心の醸成	○危機管理マニュアルの改訂を図り、危機管理意識の向上と対応能力を高める。 ○幅みやいじめの早期発見・早期対応による安心な学校環境づくりを推進する。 ○人権・同和教育、薬物乱用防止教育および命の教育を推進する。 ○豊かな心の涵養を目指した学校行事等の充実を図る。	
		「鍛ほめ福岡メソッド」を取り入れた主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	○好奇心と想像力を喚起する学習活動の推進を図る。 ○「ものづくり」への興味関心を育てる工業教育を推進する。 ○朝読書と連動した授業規律の確立を図る。	
		自主自立・規範意識の向上・5S(整理・整頓・清潔・清掃・躰)の徹底	○「挨拶」「時間厳守」「服装整頓」等、基本的な生活習慣の確立を図る。 ○部活動、生徒会活動等の活性化による自主・自立、母校愛と協働の精神の涵養を図る。 ○5S徹底による工業人としての資質の向上とコミュニケーション能力の育成を図る。	
		キャリア教育の推進と国際的視野をもった地域に根ざした人材の育成	○資格取得推進と進路マップによる進路意識の醸成を図る。 ○インターンシップや「産業人材育成事業」を活用した体験教育の推進を図る。 ○生徒自身の特性を生かせる進路希望の実現を図る。 ○グローバル人材を育成するための教育活動を図る。	
		地域に開かれた魅力ある学校づくりとブランド化	○「ものづくり」を通じた地域貢献事業の推進と創造力の育成を図る。 ○地域のボランティア活動へ積極的な参加を推進する。 ○地域・中学生・保護者への学校情報の積極的な発信とブランド化を図る。	

部所名	課名	具体的目標	具体的方策	評価(3月)	次年度の主な課題	
学年	1学年	基本的生活習慣の確立と責任感を身につける	自分のことは自分でする習慣をつけさせる。 提出物の回収遅れをできる限り少なくする。忘れた場合は、その日のうちに取りに帰るなど対応させる。 教室内における美化の徹底、勉強する環境を整える。			
		5Sの徹底と危機管理の対応	SHRを利用して雨・風・ウイルス等の予防や対策の周知徹底、様々な事象に対応する能力をつけさせる。 LHRの中で、履歴書や進路自己カルテなどを利用して、3年後のなりたい自分を想像させる。 工場見学や進路学習を通して、より具体的な進路目標を設定させる。			
		3年後を見据えた将来設計	社会人となり、一人暮らしができるように、身の回りのことができる習慣を定着させる。 自己管理、健康管理をすることで病気をしない体作りを促進する。			
	2学年	基本的生活習慣の確立	2年生として、主体的に活動できる能力を身につけさせる。 自ら問題を発見し、解決できる能力を育成する。			
		自主的・主体的に活動できる能力の涵養	面談で生徒の希望を把握し、家庭と連携しながら、キャリア教育部と協力して進路指導を行う。 学力向上と面接指導等を全職員で行う。			
	3学年	生徒全員の希望進路実現を目指す	日頃から身だしなみを整え、挨拶や場に応じた言動ができるように促す。 学校行事や部活動において、最上級生として模範となる行動ができるように意識させる。			
社会で通用する生徒の育成		実習等では毎回服装点検を徹底すると共に危険予知の重要性を指導し実習中における事故発生ゼロを目指す。 各種ものづくりに関する競技大会に参加することで、より高いレベルの技術・技能を身につけさせる。				
工業科	機械科	ものづくりの技術向上と資格取得の奨励、安全教育の徹底	産業界に必要とされるような中堅技術者の育成を目指す。 ものづくり教室や出前授業などを積極的に行い、地域に向けて科をアピールする。			
		地域や産業界に密着した学科を目指す	卒業までに全員が第2種電気工事士の取得を目指し、学習活動を展開していき、さらに上級の資格(2級電気工事施工管理技士・電験三種)にも積極的に挑戦させる。 産業界の要請に応えられるような実践的な技術を身に付けた電気技術者の育成を目指し、ものづくりなどの技能体験を通して技術・技能を習得させ、創造力豊かな人材を育てる。			
	電気科	資格取得による専門知識の向上と実践的な技術を習得した中堅電気技術者の育成を目指す	5Sを徹底し、安全管理の意識と必要性を伝え、実習の中で実践できるように指導する。また、ものづくり技術等の技術の伝承を行い、職員間で、実践力を養う。 地域に密着した活動(エコデンレース・イルミネーション)等を推進し、連携を深める。また、出前授業などを通して中学生に電気科の魅力を発信する。			
		安全教育の徹底と地域との連携を深める活動の推進	DD3種、ITサポートなどの情報技術系の資格を積極的に取り組ませることにより、進路意識の高揚と自己実現を目指す。 基礎的な学力、技術・技能の向上をはかる。			
	情報技術科	基礎的な技術・技能の向上及び進路実現できる資質向上	産業人材育成事業等を通して「ものづくり」の実践的な技術を高めるとともに、地域貢献を果たす。 産業現場が求める各種の基礎技術・技能をものづくりコンテストや各種大会に参加させ、実践的に習得させる。			
		情報及び電気・電子系技術者の育成				